

おっほんシート



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立美香保中学校

読書センターとしての機能

●文化委員おすすめの本の紹介

文化委員会（本校では文化委員がいわゆる図書委員を兼務しています）の生徒による「おすすめの本」のコーナーを、一般生徒の読書に資するように図書館内に設け、図書館利用の活性化を図りました。今年度数回行いましたが、画像は12月にクリスマス・お正月・冬などについて文化委員がおすすめの本を展示した際のものであります。



その他、利用マナーを呼びかけるポスターの作成・掲示やポイントカード（貸出1回に1スタンプ、5つ溜まると葉がもらえる）の企画なども、文化委員会でを行いました。

学習センターとしての機能

●総合的な学習での「職業調べ」

1学年で1月23日（金）総合的な学習の時間に「職業調べ」発表会を行いました。生徒が興味・関心を持った職業についてスライドにまとめた発表でしたが、スライド作りと発表の準備で、図書館を積極的に活用しました。

●図書館にある図書を授業で活用

2年生の国語の授業では、2学期に『平家物語』を読みますが、今年度は寄託図書から貸し出された「祇園精舎」という絵本を授業で活用しました。『平家物語』は、中学生にはまだ少し難しい古典ですが、作品のイメージを膨らませるのに役立ちました。



情報センターとしての機能

●図書館利用オリエンテーションを実施

4～5月に国語科と連携して、1年生を対象に図書館利用オリエンテーションを実施しました。貸し出し返却の方法、通常は1回の利用で3冊まで貸出可であることなどの他、日本全国どこの図書館でも用いられている「十進分類法」を学習し、多くの生徒のより積極的な図書館の利用を促しました。

●旅行的行事での図書室の活用

3年生の修学旅行、2年生の宿泊研修、1年生の野外学習での主に事前学習で、多くの生徒が図書館を活用しました。特に3年生は、寄託図書を活用し盛岡での自主研修の企画に生かしました。

